

プロポーザル審査項目および審査基準表

本市が設置する選定委員会において、以下の基準に基づき選定委員会1名あたり100点満点で採点を行う。本プロポーザルでは、職員の事務効率化に真に寄与する操作性とサポート体制を最重視するため、価格の配点を抑制し、機能面および支援内容に重点を置いた配分とする。

(選定委員1名あたり)

評価項目	評価の着眼点	配点
1. 価格	見積額の妥当性、及び次年度以降の継続利用における経済性。	15点
2. 機能・UI/UX	職員が迷わず使える直感的な操作性 (UI/UX)、回答の生成速度。試用環境 (デモ) 等を通じた実効性の高さ。	25点
3. RAG・技術要件	既存の無害化ソリューション等を利用したセキュアな連携、権限管理等の高度な運用機能の有無。	20点
4. 信頼性・実績	学習非利用の保証。自治体または民間等における導入・運用実績。	10点
5. 研修・サポート	※本項目は提案内容に基づく加点評価とする。 管理職への意識改革、不慣れな職員への伴走支援など、組織へ定着させるための具体的アプローチ。	30点
	合計	100点

※合計得点が同点であった場合は、評価項目のうち「5. 研修・サポート」の得点が高い者を優先交渉権者とする。